

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

脳転移を有する非小細胞肺癌の予後因子に関するレトロスペクティブ研究 ～北海道肺癌臨床研究会～
(HOT1701)

2. 研究の対象患者

2008年1月から2014年12月までの7年間に、非小細胞肺癌と診断され、初診時または術後再発時に脳転移があった患者さん

3. 研究の対象期間

2008年1月1日～2014年12月31日

4. 研究の概要

診断時または術後再発時に脳転移を有する非小細胞肺癌の臨床背景及び脳転移に対する局所治療内容と効果を明らかにするとともに、予後延長効果と関連する因子について検討する。

5. 研究実施予定期間

2018年3月21日～2018年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者識別コード、年齢（肺癌診断時）、性別、診断確定日、診断時のECOG performance status (PS)、喫煙歴 (Never/Former/Current)、臨床病期 (TNM分類 肺癌取扱い規約第7版に準じる、術後再発)、転移部位 (診断時)、組織型 (腺癌、扁平上皮癌、大細胞癌、非小細胞肺癌、その他)、EGFR遺伝子変異の有無と変異陽性例でのステータス詳細、ALK融合遺伝子の有無、脳転移診断日、脳転移の診断手段 (CT/MRI)、脳転移の部位 (大脳、小脳、脳幹)、脳転移の個数、脳転移の最大腫瘍長径、脳転移の腫瘍長径の和 (最大5箇所の評価可能脳転移病変の腫瘍径の和)、脳転移による随伴症状の有無、脳浮腫の有無、髄膜播種の有無、脳転移に対する局所治療の有無、全脳照射の有無と照射量・時期、局所放射線治療 (定位照射、ガンマナイフなど)の有無と施行箇所数および時期、手術の有無および時期、認知症の出現または増悪の有無、全身化学療法の有無、全身化学療法の治療レジメン数、全身化学療法のレジメン内容、VEGF阻害薬の使用の有無、EGFR-TKIの使用の有無、ALK阻害薬の使用の有無、免疫チェックポイント阻害薬の使用の有無、転帰・死亡日もしくは最終生存確認日

7. 外部への試料・情報の提供

KKR札幌医療センターに郵送

8. 研究組織

KKR札幌医療センター 腫瘍内科 小島哲弥
総合病院国保旭中央病院 呼吸器内科 本田亮一

※その他の研究機関については、

KKR札幌医療センターのホームページ (<http://www.kkr-smc.com/guide/other/rinri/H29.html>)
内の研究番号「29-26」の情報公開をご参照ください。

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者：呼吸器内科 本田 亮一
- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)

(研究代表者)

KKR札幌医療センター 腫瘍内科 小島 哲弥